

平成30年度 指定管理者モニタリングレポート

施設名	下関市菊川体育館及び下関市菊川運動公園
所在地	下関市菊川町大字下岡枝 1 4 7 7 番地 1 / 下岡枝 6 1 番地 1
指定管理者	団体名称 一般社団法人菊川スポーツクラブ
	代表者 代表理事 林 哲也
	団体所在地 下関市菊川町大字下岡枝 6 1 番地 1
モニタリングの実施方針・方法等	本施設の管理運営業務の確認に当たっては、管理運営状況を事業報告書、実地調査、指定管理者へのヒアリング等により把握しました。その後、指定管理者の選定に用いた選定基準等に示された項目ごとに、次葉のとおり、具体的な業務の実施状況等についての確認結果をコメントしたうえで、「モニタリングの総合コメント」及び「今後の業務改善に向けた考え方」を記載しました。
担当部課 (問合せ先)	菊川総合支所地域政策課
	TEL : 083 - 287 - 1115
	E-mail : kgchiiki@city.shimonoseki.yamaguchi.jp

■ 目標値の達成度

□指標：菊川体育館の利用者数 (単位：人)

	28年度	29年度	30年度	合計
目標値	14,000	14,000	25,000	53,000
実績値	11,881	12,802	35,705	60,388
差	△ 2,119	△ 1,198	10,705	7,388

□指標：菊川運動公園の利用者数

	28年度	29年度	30年度	合計
目標値	35,000	35,000	35,000	105,000
実績値	29,071	29,765	24,657	83,493
差	△ 5,929	△ 5,235	△ 10,343	△ 21,507

平成30年度は、菊川体育館が共用を開始し、オープニングイベント等の開催により利用者数は当初の見込みより増加しました。菊川運動公園は、台風等の天候不順により予定されていたイベントが中止となり、利用者数は減少しました。菊川体育館については、今後も利用者数の増加を図ることを求めます。菊川運動公園については、利用者のニーズに対応した教室の開催や新たな企画による新規利用者の獲得など、より一層の利用者の獲得に努めることを求めます。

■ モニタリングの総合コメント

本施設の設置目的は、市民の健康の増進と体育の振興を図るためです。管理運営の実施状況については、施設の設置目的を達成しながら、指定管理者制度導入の目的である市民サービスの向上を果たしています。新たな菊川体育館の共用開始により様々なイベントを企画・開催し、利用者の獲得に努めました。また、菊川運動公園の老朽化している施設について、積極的に改修を行うなど、施設の維持管理に大きく貢献しました。

自主事業については、2歳児から高齢者まで多世代に応じたスポーツ教室を開催し、スポーツの振興を図るとともに、イベントを通じて地域との交流を図り、地域の活性化に寄与しました。今後も指定管理者の特色を活かしながら、地域コミュニティの中心的な役割を果たす施設となるような運営を求めます。

収支については、施設の補修等で支出が増加しているものの、収支は適正な範囲でした。

■ 今後の業務改善に向けた考え方

本年度以降も、本施設の設置目的を達成するため、業務のさらなる向上充実を図り、利用者が安心して利用できるような環境づくりを求めます。地域に根ざした施設として、新たなイベントの企画・開催により年間を通じて利用者の増加に努めるよう求めます。

基本的な考え方(施設の性格・目的等との合致、市民の平等な利用の確保、施設の効用発揮)

合目的性・公平性・効果性

施設の安全・維持管理等、施設の設置目的に沿った実施方針に基づき適切に運営していました。多種多様な施設予約に対し、できる限り予約者の要望に応え、利用の調整を図り、公平・平等に利用できるよう努力していました。

業務内容

機能性・独創性(事業への具体的な取組み方)

幼児から高齢者まで、各年代に応じた教室やイベントを開催し、継続的なスポーツ習慣やスポーツレクリエーションを通じて地域の人々のふれあいを図る事業の取組みは評価できます。

責任性・実行性(施設の運営体制や組織)

業務遂行に必要な人員配置や管理体制の維持に努め、関係条例、規則等を遵守して適切に管理していました。また、毎月定期的に職員ミーティングが行われ、日々の業務における問題点や改善点の情報共有が図られ、施設運営の向上に努めていました。

明瞭性・規律性(適正な事務や経理)

利用料金などの収入、施設管理費等の支出について適正に処理しています。領収書や経理関係書類、施設の利用に関する書類、保守点検等に関する書類は適正に整理保管していました。

安全性(安全管理、緊急時等の対応)

利用者の安全を確保するための施設の保守点検、修繕等も適切に実施しており、施設の不具合等は適宜市へ報告を行っています。また、事故等が発生した場合は、迅速かつ適切な対応を取っています。

社会性(環境等への配慮)

不要箇所の照明の消灯、冷暖房の使用を控えるなど、職員全員で省エネに努めていました。

事業収支

経済性

支出について、昨年度に比べ増加しているものの、当初計画の範囲内において適正に執行していました。収支については、収支均衡となるレベルであり、安定的かつ継続的に本施設を管理運営できる範囲内であると認められます。

団体の経営状態

経営の健全性

提出された財務諸表等を分析した結果、財務状況については、特に大きな課題や問題はないため、経営状態は健全と判断しました。

令和元年度 指定管理者モニタリングレポート

施設名	下関市菊川体育館及び下関市菊川運動公園
所在地	下関市菊川町大字下岡枝 1 4 7 7 番地 1 / 下岡枝 5 6 番地 1
指定管理者	団体名称 一般社団法人菊川スポーツクラブ
	代表者 代表理事 酒井 好男
	団体所在地 下関市菊川町大字下岡枝 5 6 番地 1
モニタリングの実施方針・方法等	本施設の管理運営業務の確認に当たっては、管理運営状況を事業報告書、実地調査、指定管理者へのヒアリング等により把握しました。その後、指定管理者の選定に用いた選定基準等に示された項目ごとに、次葉のとおり、具体的な業務の実施状況等についての確認結果をコメントしたうえで、「モニタリングの総合コメント」及び「今後の業務改善に向けた考え方」を記載しました。
担当部課 (問合せ先)	菊川総合支所地域政策課
	TEL : 083 - 287 - 1115
	E-mail : kgchiiki@city.shimonoseki.yamaguchi.jp

■ 目標値の達成度

□指標：菊川体育館の利用者数

(単位：人)

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	合計
目標値	14,000	14,000	14,000	25,000	31,000	98,000
実績値	10,889	11,881	12,802	35,705	31,769	103,046
差	△ 3,111	△ 2,119	△ 1,198	10,705	769	5,046

□指標：菊川運動公園の利用者数

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	合計
目標値	34,000	35,000	35,000	35,000	30,000	169,000
実績値	35,120	29,071	29,765	24,657	28,368	146,981
差	1,120	△ 5,929	△ 5,235	△ 10,343	△ 1,632	△ 22,019

令和元年度の菊川体育館の利用者数は、目標値を達成しましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止に伴う休館により前年度の利用者数を超えることはできませんでした。菊川運動公園は、予定されていたイベント等が予定どおり開催されたことで、前年度に比べ、利用者数は増加しましたが、目標値は達成できませんでした。今後も利用者のニーズに対応した教室の開催や新たな企画による新規利用者の獲得など、より一層の利用者の獲得に努めることを求めます。

■ モニタリングの総合コメント

本施設の設置目的は、市民の健康の増進と体育の振興を図るためです。管理運営の実施状況については、施設の設置目的を達成しながら、指定管理者制度導入の目的である市民サービスの向上を果たしています。また、施設の維持管理、業務の実施、事業の実施についても適切に行われており、総合的に判断して良好と評価します。

平成30年度より新たに供用開始した菊川体育館については、様々なイベントを企画し、開催することで利用者の増加と定着に努めました。

自主事業については、2歳児から高齢者まで多世代に応じたスポーツ教室を継続して開催し、スポーツの振興を図るとともに、イベントを通じて地域との交流を図り、地域の活性化に寄与しました。今後も指定管理者の特色を活かしながら、地域スポーツ振興の中心的な役割を果たす施設となるような運営を期待します。

■ 今後の業務改善に向けた考え方

本年度以降も、本施設の設置目的を達成するため、業務の質のさらなる向上充実を図り、利用者が平等に安心して利用できる環境づくりを求めます。また、利用者数が減少傾向にある菊川運動公園については、利用者のニーズに対応した新たなイベントの企画・開催により年間を通じて利用者の増加に努めるよう求めます。

基本的な考え方(施設の性格・目的等との合致、市民の平等な利用の確保、施設の効用発揮)

合目的性・公平性・効果性

施設の安全・維持管理等、施設の設置目的に沿った実施方針に基づき適切に運営していました。多種多様な施設予約に対し、利用の調整を図り、公平・平等に利用できるよう努力していました。

業務内容

機能性・独創性(事業への具体的な取組み方)

施設利用の許可等について苦情・問題はなく、適切に実施していました。
地域の各種スポーツ団体と協力し、地域スポーツの振興や地域住民の健康増進が図られる教室等を実施し、施設の利用促進に努めました。

責任性・実行性(施設の運営体制や組織)

毎月定期的に職員ミーティングが行われ、日々の業務における問題点や改善点の情報共有が図られました。
新型コロナウイルス感染症対策として、消毒液の設置、定期的な換気、設備等の消毒の徹底など、感染拡大防止に努めました。

明瞭性・規律性(適正な事務や経理)

利用許可、利用料金の収受、利用料金の減免等収入については、適正に処理していました。また、施設管理費等の支出についても適正に処理していました。
領収書や経理関係書類、施設の利用に関する書類、保守点検等に関する書類は適正に整理保管していました。

安全性(安全管理、緊急時等の対応)

利用者の安全を確保するための施設の保守点検、修繕等も適切に実施しており、施設の不具合等は適宜市へ報告を行っています。
新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に伴う休館の際には、利用者への周知等迅速な対応を図りました。

社会性(環境等への配慮)

不要箇所の照明の消灯、冷暖房の使用を控えるなど、省エネに努めていました。

事業収支

経済性

支出について、経費の節減が図られたことで、収支は黒字となりました。事業収支は、安定的かつ継続的に本施設を管理運営できる範囲内であると認められます。

団体の経営状態

経営の健全性

提出された財務諸表等を分析した結果、財務状況については、特に大きな課題や問題はないため、経営状態は健全と判断しました。

令和2年度 指定管理者モニタリングレポート

施設名	下関市菊川体育館及び下関市菊川運動公園
所在地	下関市菊川町大字下岡枝 1 4 7 7 番地 1 / 下岡枝 5 6 番地 1
指定管理者	団体名称 一般社団法人菊川スポーツクラブ
	代表者 代表理事 酒井 好男
	団体所在地 下関市菊川町大字下岡枝 5 6 番地 1
モニタリングの実施方針・方法等	本施設の管理運営業務の確認に当たっては、管理運営状況を事業報告書、実地調査、指定管理者へのヒアリング等により把握しました。その後、指定管理者の選定に用いた選定基準等に示された項目ごとに、次葉のとおり、具体的な業務の実施状況等についての確認結果をコメントしたうえで、「モニタリングの総合コメント」及び「今後の業務改善に向けた考え方」を記載しました。
担当部課 (問合せ先)	菊川総合支所地域政策課
	TEL : 083 - 287 - 1115
	E-mail : kgchiiki@city.shimonoseki.yamaguchi.jp

■ 目標値の達成度

□指標：菊川体育館の利用者数

(単位：人)

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	合計
目標値	14,000	14,000	25,000	31,000	33,000	117,000
実績値	11,881	12,802	35,705	31,769	24,542	116,699
差	△ 2,119	△ 1,198	10,705	769	△ 8,458	△ 301

□指標：菊川運動公園の利用者数

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	合計
目標値	35,000	35,000	35,000	30,000	30,000	165,000
実績値	29,071	29,765	24,657	28,368	22,124	133,985
差	△ 5,929	△ 5,235	△ 10,343	△ 1,632	△ 7,876	△ 31,015

新型コロナウイルス感染症の拡大防止に伴う休館等により、利用者が減少し、目標値は達成できませんでした。今後も利用者のニーズに対応した教室の開催や新たな企画による新規利用者の獲得など、より一層の利用者の獲得に努めることを求めます。

■ モニタリングの総合コメント

本施設の設置目的は、市民の健康の増進と体育の振興を図るためです。管理運営の実施状況については、施設の設置目的を達成しながら、指定管理者制度導入の目的である市民サービスの向上を果たしています。また、施設の維持管理、業務の実施、事業の実施についても適切に行われており、総合的に判断して良好と評価します。

平成30年度より新たに供用開始した菊川体育館については、様々なイベントを企画し、開催することで利用者の増加と定着に努めました。

自主事業については、2歳児から高齢者まで多世代に応じたスポーツ教室を継続して開催し、スポーツの振興を図るとともに、イベントを通じて地域との交流を図り、地域の活性化に寄与しました。今後も指定管理者の特色を活かしながら、地域スポーツ振興の中心的な役割を果たす施設となるような運営を期待します。

■ 今後の業務改善に向けた考え方

本年度以降も、本施設の設置目的を達成するため、業務の質のさらなる向上充実を図り、利用者が平等に安心して利用できる環境づくりを求めます。また、利用者数が減少傾向にある菊川運動公園については、利用者のニーズに対応した新たなイベントの企画・開催により年間を通じて利用者の増加に努めるよう求めます。

基本的な考え方(施設の性格・目的等との合致、市民の平等な利用の確保、施設の効用発揮)

合目的性・公平性・効果性

施設の管理運営は、設置目的に沿った実施方針に基づき適切に実施していました。多種多様な施設予約に対し、利用の調整を図り、公平・平等に利用できるよう努力していました。

業務内容

機能性・独創性(事業への具体的な取組み方)

施設利用の許可等について苦情・問題はなく、適切に実施していました。
地域の各種スポーツ団体と協力し、地域スポーツの振興や地域住民の健康増進が図られる教室等を実施し、施設の利用促進に努めました。

責任性・実行性(施設の運営体制や組織)

毎月定期的に職員ミーティングが行われ、日々の業務における問題点や改善点の情報共有が図られました。
新型コロナウイルス感染症への感染対策として、消毒液の設置、定期的な換気、設備等の消毒の徹底などに努めました。

明瞭性・規律性(適正な事務や経理)

利用許可、利用料金の収受、利用料金の減免等収入については、適正に処理していました。また、施設管理費等の支出についても適正に処理していました。
領収書や経理関係書類、施設の利用に関する書類、保守点検等に関する書類は適正に整理保管していました。

安全性(安全管理、緊急時等の対応)

利用者の安全を確保するための施設の保守点検、修繕等も適切に実施しており、施設の不具合等は適宜市へ報告を行っています。
新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に伴う休館の際には、利用者への周知等迅速な対応を図りました。

社会性(環境等への配慮)

不要箇所の照明の消灯、冷暖房の使用を控えるなど、省エネに努めていました。

事業収支

経済性

支出については、新型コロナウイルス対策の物品購入等により昨年よりも増加しましたが、適正に執行されていました。収支についても、経営努力により、ほぼ収支均衡となるレベルとなりました。事業収支は、安定的かつ継続的に本施設を管理運営できる範囲内であると認められます。

団体の経営状態

経営の健全性

提出された財務諸表等を分析した結果、財務状況については、特に大きな課題や問題はないため、経営状態は健全と判断しました。

令和3年度 指定管理者モニタリングレポート

施設名	下関市菊川体育館及び下関市菊川運動公園
所在地	下関市菊川町大字下岡枝 1 4 7 7 番地 1 / 下岡枝 5 6 番地 1
指定管理者	団体名称 一般社団法人菊川スポーツクラブ
	代表者 代表理事 酒井 好男
	団体所在地 下関市菊川町大字下岡枝 5 6 番地 1
モニタリングの実施方針・方法等	本施設の管理運営業務の確認に当たっては、管理運営状況を事業報告書、実地調査、指定管理者へのヒアリング等により把握しました。その後、指定管理者の選定に用いた選定基準等に示された項目ごとに、次葉のとおり、具体的な業務の実施状況等についての確認結果をコメントしたうえで、「モニタリングの総合コメント」及び「今後の業務改善に向けた考え方」を記載しました。
担当部課 (問合せ先)	菊川総合支所地域政策課
	TEL : 083 - 287 - 1115
	E-mail : kgchiiki@city.shimonoseki.yamaguchi.jp

■ 目標値の達成度

□指標：菊川体育館の利用者数

(単位：人)

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	合計
目標値	14,000	25,000	31,000	33,000	33,000	136,000
実績値	12,802	35,705	31,769	24,542	23,076	127,894
差	△ 1,198	10,705	769	△ 8,458	△ 9,924	△ 8,106

□指標：菊川運動公園の利用者数

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	合計
目標値	35,000	35,000	30,000	30,000	30,000	160,000
実績値	29,765	24,657	28,368	22,124	26,189	131,103
差	△ 5,235	△ 10,343	△ 1,632	△ 7,876	△ 3,811	△ 28,897

新型コロナウイルス感染症の拡大防止に伴う臨時休館や小中学校の部活動の自粛等により、利用者が伸び悩み、目標値は達成できませんでした。今後も利用者のニーズに対応した教室の開催や新たな企画による新規利用者の獲得など、より一層の利用者の獲得に努めることを求めます。

■ モニタリングの総合コメント

本施設の設置目的は、市民の健康の増進と体育の振興を図るためです。管理運営の実施状況については、施設の設置目的を達成しながら、指定管理者制度導入の目的である市民サービスの向上を果たしています。また、施設の維持管理、業務の実施、事業の実施についても適切に行われており、総合的に判断して良好と評価します。

平成30年度より新たに供用開始した菊川体育館については、様々なイベントを企画し、開催することで利用者の増加と定着に努めました。

自主事業については、2歳児から高齢者まで多世代に応じたスポーツ教室を継続して開催し、スポーツの振興を図るとともに、イベントを通じて地域との交流を図り、地域の活性化に寄与しました。今後も指定管理者の特色を活かしながら、地域スポーツ振興の中心的な役割を果たす施設となるような運営を期待します。

■ 今後の業務改善に向けた考え方

本年度以降も、本施設の設置目的を達成するため、業務の質のさらなる向上充実を図り、利用者が平等に安心して利用できる環境づくりを求めます。また、利用者数が減少傾向にある菊川運動公園については、利用者のニーズに対応した新たなイベントの企画・開催により年間を通じて利用者の増加に努めるよう求めます。

基本的な考え方(施設の性格・目的等との合致、市民の平等な利用の確保、施設の効用発揮)

合目的性・公平性・効果性

施設の管理運営は、設置目的に沿った実施方針に基づき適切に実施していました。多種多様な施設予約に対し、利用の調整を図り、公平・平等に利用できるよう努力していました。

業務内容

機能性・独創性(事業への具体的な取組み方)

施設利用の許可等について苦情・問題はなく、適切に実施していました。
地域の各種スポーツ団体と協力し、地域スポーツの振興や地域住民の健康増進が図られる教室等を実施し、施設の利用促進に努めました。

責任性・実行性(施設の運営体制や組織)

毎月定期的に職員ミーティングが行われ、日々の業務における問題点や改善点の情報共有が図られました。
新型コロナウイルス感染症への感染対策として、消毒液の設置、定期的な換気、設備等の消毒の徹底などに努めました。

明瞭性・規律性(適正な事務や経理)

利用許可、利用料金の収受、利用料金の減免等収入については、適正に処理していました。また、施設管理費等の支出についても適正に処理していました。
領収書や経理関係書類、施設の利用に関する書類、保守点検等に関する書類は適正に整理保管していました。

安全性(安全管理、緊急時等の対応)

利用者の安全を確保するための施設の保守点検、修繕等も適切に実施しており、施設の不具合等は適宜市へ報告を行っています。
新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に伴う休館の際には、利用者への周知等迅速な対応を図りました。

社会性(環境等への配慮)

不要箇所の照明の消灯、冷暖房の使用を控えるなど、省エネに努めていました。

事業収支

経済性

支出については、適正に執行されていました。収支についても、経営努力により、ほぼ収支均衡となるレベルとなりました。事業収支は、安定的かつ継続的に本施設を管理運営できる範囲内であると認められます。

団体の経営状態

経営の健全性

提出された財務諸表等を分析した結果、新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響を受けていますが、財務状況については、特に大きな課題や問題はないため、経営状態は健全と判断しました。

令和4年度 指定管理者モニタリングレポート

施設名	下関市菊川体育館及び下関市菊川運動公園
所在地	下関市菊川町大字下岡枝 1 4 7 7 番地 1 / 下岡枝 5 6 番地 1
指定管理者	団体名称 一般社団法人菊川スポーツクラブ
	代表者 代表理事 酒井 好男
	団体所在地 下関市菊川町大字下岡枝 5 6 番地 1
モニタリングの実施方針・方法等	本施設の管理運営業務の確認に当たっては、管理運営状況を事業報告書、実地調査、指定管理者へのヒアリング等により把握しました。その後、指定管理者の選定に用いた選定基準等に示された項目ごとに、次葉のとおり、具体的な業務の実施状況等についての確認結果をコメントした上で、「モニタリングの総合コメント」及び「今後の業務改善に向けた考え方」を記載しました。
担当部課 (問合せ先)	菊川総合支所地域政策課
	TEL : 083 - 287 - 1115
	E-mail : kgchiiki@city.shimonoseki.yamaguchi.jp

■ 目標値の達成度

□指標：菊川体育館の利用者数

(単位：人)

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	合計
目標値	25,000	31,000	33,000	33,000	33,000	155,000
実績値	35,705	31,769	24,542	23,076	27,530	142,622
差	10,705	769	△ 8,458	△ 9,924	△ 5,470	△ 12,378

□指標：菊川運動公園の利用者数

(単位：人)

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	合計
目標値	35,000	30,000	30,000	30,000	30,000	155,000
実績値	24,657	28,368	22,124	26,189	35,067	136,405
差	△ 10,343	△ 1,632	△ 7,876	△ 3,811	5,067	△ 18,595

新型コロナウイルス感染症の拡大防止に伴う制限が完全に解消されない中、利用者が伸び悩み、目標値は達成できませんでした。今後も利用者のニーズに対応した教室の開催や新たな企画による新規利用者の獲得など、より一層の利用者の獲得に努めることを求めます。

■ モニタリングの総合コメント

本施設の設置目的は、市民の健康の増進と体育の振興を図るためです。管理運営の実施状況については、施設の設置目的を達成しながら、指定管理者制度導入の目的である市民サービスの向上を果たしています。また、施設の維持管理、業務の実施、事業の実施についても適切に行われており、総合的に判断して良好と評価します。

平成30年度より新たに供用開始した菊川体育館については、様々なイベントを企画し、開催することで利用者の増加と定着に努めました。

自主事業については、幼児から高齢者まで多世代に応じたスポーツ教室を継続して開催し、スポーツの振興を図るとともに、イベントを通じて地域との交流を図り、地域の活性化に寄与しました。今後も指定管理者の特色を活かしながら、地域スポーツ振興の中心的な役割を果たす施設となるような運営を期待します。

■ 今後の業務改善に向けた考え方

本年度以降も、本施設の設置目的を達成するため、業務の質の更なる向上充実を図り、利用者が平等に安心して利用できる環境づくりを求めます。また、利用者数が減少傾向にある菊川運動公園については、利用者のニーズに対応した新たなイベントの企画・開催により年間を通じて利用者の増加に努めるよう求めます。

合目的性・公平性・効果性

施設の管理運営は、設置目的に沿った実施方針に基づき適切に実施していました。多種多様な施設予約に対し、利用の調整を図り、公平・平等に利用できるよう努力していました。

機能性・独創性(事業への具体的な取組み方)

施設利用の許可等について苦情・問題はなく、適切に実施していました。
地域の各種スポーツ団体と協力し、地域スポーツの振興や地域住民の健康増進が図られる教室等を実施し、施設の利用促進に努めました。

責任性・実行性(施設の運営体制や組織)

毎月定期的に職員ミーティングが行われ、日々の業務における問題点や改善点の情報共有が図られました。
新型コロナウイルス感染症への感染対策として、消毒液の設置、定期的な換気、設備等の消毒の徹底などに努めました。

明瞭性・規律性(適正な事務や経理)

利用許可、利用料金の收受、利用料金の減免等収入については、適正に処理していました。また、施設管理費等の支出についても適正に処理していました。
領収書や経理関係書類、施設の利用に関する書類、保守点検等に関する書類は適正に整理保管していました。

安全性(安全管理、緊急時等の対応)

利用者の安全を確保するための施設の保守点検、修繕等も適切に実施しており、施設の不具合等は適宜市へ報告を行っています。また、事故等が発生した場合は、迅速かつ適切な対応を取っています。

社会性(環境等への配慮)

不要箇所の照明の消灯、冷暖房の使用を控えるなど、省エネに努めていました。

経済性

支出について、光熱費の高騰等により昨年度に比べ増加しているものの、適正に執行していました。
収支については、収支均衡となるレベルであり、安定的かつ継続的に本施設を管理運営できる範囲内であると認められます。

経営の健全性

提出された財務諸表等を分析した結果、財務状況については、特に大きな課題や問題はないため、経営状態は健全と判断しました。